

## 議決権の行使についての参考書類

### 第1号議案 第7期営業報告書案承認の件

営業報告書

(平成23年10月 1 日から平成24年 9 月30日まで)

#### 1. 営業の概況・営業の経過および成果

今期の当社の活動も、ほぼ定常的な状況に入っているということができます。前期に比較しますと、やや収入が減少し、逆に必要経費が増加したため、利益幅は減少しましたが、一応、今期も期末に利益を計上することが出来ました。これは、每期お伝えもしておりますが、株主の皆様方の温かいご支援によるものと感謝しております。さらに、設立当初から数期間の借入金の返済も完済に至っておりませんが、これを返済しつつ、今後も、継続して営業強化を行ってまいりる所存ですので、増々のご支援をお願い申し上げます。

営業の基本は、愛媛大学で満足される情報系システムやウェブサイト(ホームページ)他の安価での供給で、スタッフとして活躍する大学院生等に実学体験を与えることにも大きな意味を持って、今期も活動してまいりました。今期に当社が取り扱いました主な事業は、前期と同様、以下の分野に大別されます。いくつかに関して簡単にまとめておきます。

情報システムといたしましては、前期から継続の「フレンドシップ事業用システム」(教育学部)、「未来の科学者育成講座」(理学部)、「感染管理システム」(医学部・附属病院)、「看護学科ティーチングポートフォリオ」(医学部)、「授業支援システム」(工学部)。「養殖魚関係」(農学部南予水産研究センター)、「食育システム」(農学部)、愛媛大学ミュージアムのシステム、四国がんセンターでの「研修医ポートフォリオ」等に取り組んでまいりました。これらの内容は前期にも簡単に触れさせていただきましたので省略します。さらに、今期から新規に受注しております情報システムには、上の看護学科ティーチングポートフォリオを拡張して、愛媛県内の看護師の方々が研修内容を報告するポートフォリオとした「高度看護力開発事業システム」(愛媛県・医学部看護学科)、連合農学研究科の修了生や教員の間の連携を図り、フェイスブック的機能を実現した「修了生ネットワーク」等があげられます。これらのシステムは、指定された者のみがウェブサイトを経由してアクセス可能なシステムになっており、今後は単に広く公開というのみではなく、受講生間、同窓生間のみでの「閉じた範囲内での公開」という種類のウェブサイトやシステムの要求が強くなると思われれます。ただ、従来と比較しますと、愛媛大学の、大口の外部資金の獲得数がやや減少しているように思えることも、今後注意していかなければいけないことだろうと思われれます。

以上は、愛媛大学を中心とする情報システムですが、愛媛大学内で受注してまいりましたウェブサイトに関しましては、前期から、愛媛大学の全学部、愛媛大学ミュージアム、放送大学愛媛学習センター、教育学生支援機構が管理しておられます「コンソーシアムえひめ」その他からの受注を受けています。特に愛媛大学ミュージアムには、メッセージ配信機能、トップページの画像や新着情報、ミュージアムノートをミュージアムのスタッフにて編集できる機能を追加しました。新規のものとしましては、法文学部で国内外でご活躍中の教授の方の研究用ウェブ、工学部環境建設工学科の研究室からいただきました研究プロジェクトに関するウェブ、工学部情報工学科で優秀な新入生獲得のためのウェブ、農学部学生の就職関係

情報をまとめた農学部就職サイト、愛媛大学附属高校の同窓会ウェブ等に対応しております。これらのウェブサイトも「閉じた範囲内での公開」を原則としています。

これらの他、共通教育「情報科学」のeラーニング用教材作成、及びオンラインテストの試験問題の作成も継続しております。前期同様に、著作権処理や愛媛大学からの代金支払い等は、教科書の作成元であります日経BP社の協力を得て進めております。総合情報メディアセンターを中心とします「愛媛大学情報基盤システム」の保守支援も、パルソフトウェアサービス社の常駐保守者を支援しながら、日々の運用状況を確認する方向で継続しております。なお、愛媛大学と松山市の共催による全国の大学・高専・高校・専門学校の学生・生徒対象のプログラミングコンテスト「epoch@まつやま2011」までは、当社のサーバを使用して予選・本選を無事終了しましたが、2012年度には、松山市の補助金、愛媛大学の学長裁量経費双方共がなくなり、継続の危機に陥りました。折角全国的にも名称も浸透してきたコンテストですので、突然の中止は、愛媛大学への悪印象を国内に与えかねない問題があり、当社といたしましても、なんとか継続への努力を重ねました。当面は、工学部情報工学科主催という形で、規模を縮小し今年度も継続することになりました。競技用サーバの維持管理と、ウェブサイト作成は今年度も当社で行っております。

このように、今期の当社の業務も、前期同様に、「愛媛大学の状況を熟知して、愛媛大学に適した便利な情報システムやウェブサイトの開発」という、当社の設立目的の一つに合致する方向を強めることができている。また、もう一つの目標であります「愛媛大学の大学院生や学生に、IT分野の実学体験を与える」も、特に大学院生がプロジェクトリーダーとなって、各業務の推進に努力しており、学生は講義では吸収できない多くの実践的知識を体験して社会に巣立っています。この前段階としての工学部情報工学科の3年次学生や地域若者ステーションからのインターンシップ生も引き受けております。これらの点を踏まえ、情報系で国内最大の学会組織であります「情報処理学会」の学会誌「情報処理」の本年4月号に、取締役の野田が執筆依頼を受け、掲載しましたコラム「創る」も同封しますので、ご覧ください。国内の情報系企業や大学の多くの関係者に、当社を知らしめたこととなります。

技術的に新規の事項といたしましては、いくつかの案件に関しましては、現在広く普及して参りましたクラウド・サービスを活用し、サーバ等を愛媛大学の基盤ネットワークの外において活用しております。現状では、愛媛大学内にサーバを新設するよりも、使用面での自由度やサーバ経費等で、外部のクラウド・サービスを活用する方が有利な場合が多いため、このようになっています。この種の事例を重ねて行けば、近い将来には、愛媛大学自体も当社の方向性を見習い、サーバのクラウド化に進んでくれる可能性も大であると思われれます。もちろん、当社で働いております院生・学生も、クラウド技術、その根幹の仮想サーバ技術等、実社会では即戦力的に必要な技術を、当社での経験を踏まえて修得しております。

なお、現在、当社に登録し、色々のシステム開発やウェブサイト設計に従事しております院生・学生(e-CISスタッフ)の総数は、以下のようになっております。

理工学研究科電子情報工学専攻(博士前期)情報工学コース	2年	3	名
//	1年	6	名
理工学研究科電子情報工学専攻(博士前期)ICTスペシャリスト育成コース	1年	1	名
工学部情報工学科	4年	5	名
//	3年	12	名
//	2年	4	名
農学部生物資源学科	4年	2	名
合 計		31	名

## 2. 会社の現状と対処すべき課題

上でも述べましたように、今期も、当社の設立趣旨に合致した方向での、愛媛大学の多くの教職員の方々のご協力にもより、それなりの収入を確保することが出来ました。収益が前年度よりやや減少しておりますので、より営業利益を上げるための努力を強化する必要があります。この点に関しましては、第一には愛媛大学の教育研究活動等の活性化により、外部資金獲得額が増大し、そのための情報系システムやウェブサイトの受注の増加の要があり、第二には、上と関連しますが、愛媛大学キャンパス内で展開しておられる、放送大学愛媛学習センター、愛媛大学生協同組合等の組織との連携を、より強化することがあり、さらに、第三として、当社といたしまして、例えば他大学や四国がんセンターのような愛媛大学以外の学術系組織へのアクセスを拡大することにあります。これらに関しましては、当社といたしましても、可能な限りの努力を傾ける所存でございます。特に、独立行政法人の見直し論議なども出ておりますので、愛媛大学がより先端的研究で成果を上げられ、優秀な人材を送り出されるように教育・研究活動をより一層強化されることに関して、少しでも貢献できればと考えております。

なお、学内でも、当社の設立経緯を御存じない教職員の方々がおられます。今期も、そういう観点から、かなり強いご意見を担当のe-CISスタッフの大学院生に浴びせかけられ、その学生がe-CISスタッフを辞退したいと申し出たケースもありました。事後に、当該教職員の方にも、設立経緯等と、一般企業に比較し1/10以下程度の経費で開発している旨をお伝えはしましたが、どの程度御理解いただいたかは不明です。今後、この種の事例をなくし、学生の育成も重大な当社の趣旨ですので、このあたりの周知徹底を図っていく必要があろうかと思っております。

今後も、現在の各種業務の方向性を保ち、各々での業務をさらに発展させ、来期以降の業績拡大につなげていきたいと思っております。また、株主の皆様方からは、株式配当に関するご要望も出ておりますが、これは、初期からの累積赤字の解消後ということでございますので、前期に引き続き、今期も残念ながら見送らざるを得ません。上の方向で努力を重ね、少しでも早く、皆様方のご要望にお応えできますように、努力を重ねてまいります。株主の皆様からの、一層のご支援を期待しております。

## 3. 業績および財産の状況の推移ならびにその説明

(以下の数値は、単位＝千円(税込)で表示しております)

売上高(千円)	14,205	(前期比	△	815)
愛媛大学内各種情報システムの開発、ウェブサイト設計・制作、e-Learning 関係、e-ポートフォリオシステムの開発等				
売上原価(千円)	2,379	(前期比		667)
e-CISスタッフ給与				
総経費(千円)	7,044	(前期比	△	1,828)
法人税等を含む				
当期純利益(千円)	3,668	(前期比	△	2,678)
当期末未処分利益(千円)	△ 18,784	(前期比		3,668)

なお、第7期の決算報告書として、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、同(内訳)、及び決算方法を記した個別注記表を同封いたします。

## **第2号議案 取締役および監査役の任期満了に伴う改選の件**

取締役および監査役の全員が、定款第30条(最初の取締役及び監査役の任期)の規程に基づき本定時総会の終結と同時に任期満了退任となりますので、改選の必要があります。その選任方法については定款第20条の規程により累積投票の方法によらないこととなっています。現在の取締役および監査役の全員を再選し、重任させるか、その一部あるいは全員を新規に選出するかについてはかります。

## **第3号議案 取締役及び監査役の報酬額の決定に関する件**

当社が取締役及び監査役に、本年10月1日から明年9月30日までに支払うべき報酬等の額の上限は1,500万円とします。